

新生美術館に係る今後の対応について

1 「近代美術館増築その他工事」の入札結果について

8月28日に行った標記工事に係る入札については、2者の共同企業体から応札があったものの、いずれも予定価格を超過し、入札不落となった。

応札業者および応札額(税抜)	1回目	2回目
竹中・笹川建設工事共同企業体	3,390,000,000円	3,360,000,000円
清水・西村共同企業体	3,150,000,000円	辞退

2 入札不落の要因について

- ・近年の技能労働者不足の状況下における施工単価の上昇により、設計価格と入札参加業者の見積価格に差が生じた。
- ・美術館特有の特殊な製作品を使用するといった積算単価にかい離が生じやすい要素が多く含まれていたことなどから、設計価格と入札参加業者の見積価格に差が生じた。

3 今後の対応案について

美術館本体工事費47億円の遵守に努めるとともに、新生美術館のコンセプトを最大限に守った上で、入札参加要件の見直しの検討や設計の一部見直しを行い、再度、入札公告を行う。

(1) 入札参加要件の見直しの検討

- ・施工実績要件の見直し
- ・総合評定値の点数要件の見直し

(2) 主な設計の見直し項目

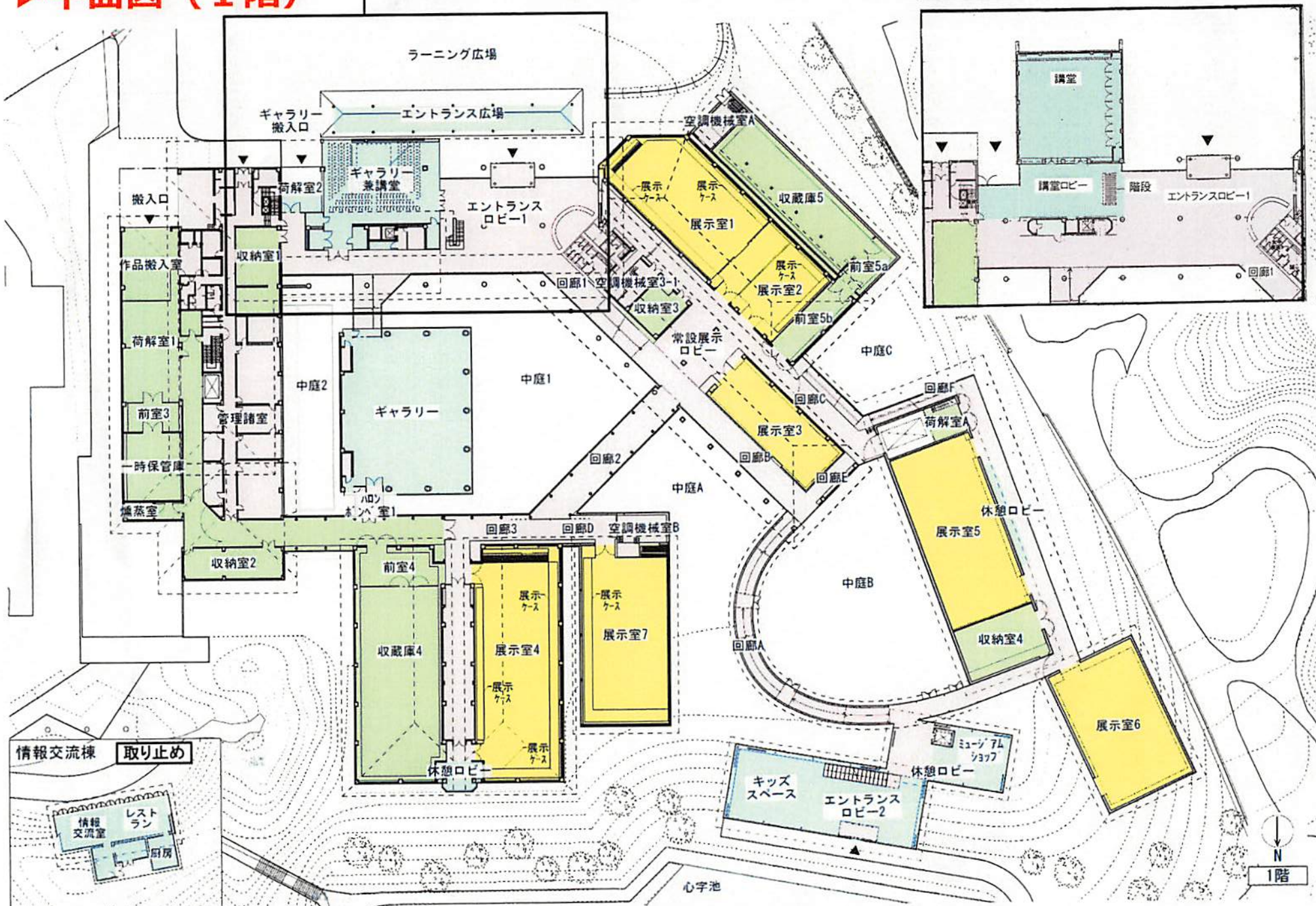
- ① 講堂の改修取りやめ
- ② 既存エントランス・アプローチの整備取りやめ
- ③ 情報交流棟の建築取りやめ
- ④ 内外装、工法、特注品等の見直し

4 今後の想定スケジュール

平成 29 年 11 月	入札公告
平成 30 年 2 月	開札
平成 30 年 2 月	契約議案上程
平成 30 年 3 月	着工
平成 32 年 2 月	竣工
平成 32 年 6 月	開館

▶ 平面図 (1階)

変更案



情報交流棟 取り止め



展示部門
 情報・交流・フニティ部門
 収蔵部門
 調査・研究部門
 管理・共用部分

